

地域農業振興計画

地域から必要とされる農業へ ～「食と農」「地域」「環境」の融合

方針1：生産振興対策

【対策1】横浜農業の生産基盤の維持

- ・農地相談機能の充実
- ・不耕作地の解消に向けた支援体制の構築
- ・災害や不測の事態に備えた農業共済、収入保険制度、農業者年金等の普及推進
- ・激甚化する自然災害への対応強化
- ・農地の保全と新たな担い手への円滑な承継
- ・有害鳥獣対策の実施

【対策2】信頼される農畜産物の栽培・生産促進

- ・農業経営の安定化に即した高収益作物の栽培促進
- ・営農技術顧問、営農インストラクターによる相談対応の拡充と指導体制の整備
- ・GAP（農業生産工程管理）手法による農業経営改善等、安定経営に向けた支援
- ・担い手が必要とする農作業関連講習会の実施
- ・関係部会と連携した病害虫、家畜伝染病等の事案への対応
- ・ICT（情報通信技術）を活用した迅速な情報伝達

【対策3】担い手に対する営農支援

- ・生産コスト低減対策の実施
- ・農薬・肥料等の適正使用の提案
- ・農作業受委託事業の利用促進
- ・労働力支援の充実（援農ボランティア、農福連携等）
- ・貸出用農機の充実
- ・豚熱、鳥インフルエンザ等、家畜の法定伝染病に対する支援

【対策4】新たな担い手の確保・育成

- ・農業後継者の育成・人材育成に向けた就農前における農業への理解促進
- ・新規農業参入者、Uターン農業者等への技術、経営支援
- ・行政および関係団体と連携した就農支援体制の整備

【対策5】新たな農業スタイルの普及促進

- ・スマート農業・アグリテックの活用
- ・環境にやさしい持続可能な農業の普及

【対策6】農政活動の展開

- ・組合員、担い手の要望等に基づく積極的な農林施策、予算要望の実施
- ・横浜農業の維持に向けた各種税制問題への対応強化

方針2：流通対策

【対策1】安全・安心な横浜産農畜産物の安定供給

- ・生産履歴記帳やトレーサビリティを徹底した安全・安心な農畜産物の供給体制の整備
- ・物流体制の再構築と集出荷施設等の整備
- ・栽培情報を総合的に把握した安定的な集荷と有利販売の実施
- ・買取販売を前提としたJA依頼による契約栽培の導入

【対策2】販売力向上

- ・地域から必要とされるメルカート、「ハマッツ」直売所の運営体制の整備
- ・新たな販売先の開拓と地場流通量の拡大
- ・インターネット等を活用した新たな販売方法の導入
- ・企業と連携した販売促進
- ・地域のニーズに合わせた出張販売の展開
- ・横浜産農畜産物を利用した商品開発と総合事業機能を発揮した販売推進

方針3：地域振興対策

【対策1】地域との結びつきの強化

- ・市街地と共存する良好な農景観の提供
- ・緑と花のある地域環境への貢献
- ・地域や子育て世代への食農・食育活動支援

【対策2】横浜農業のPR

- ・地域住民に対する地産地消の推進
- ・JAホームページ、SNSを活用した「横浜農業」のPR
- ・行政、関係団体と連携した効果的なイベント等への参加
- ・「農」への理解醸成をはかるイベントの実施

【対策3】准組合員とのつながり強化

- ・「食」と「農」をキーワードとする関係性の強化
- ・横浜農業振興応援団として、一層の理解促進

平成17年3月 策定
令和4年3月 改訂

◇地域農業振興計画からみるSDGsとの関連性

【方針1】生産振興対策



【方針2】流通対策



【方針3】地域振興対策



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS